

2014年11月4日

アメリカ合衆国 バラク・H・オバマ大統領 殿

非核の政府を求める大阪の会

たび重なる新型核実験の強行に怒りを込めて抗議する

貴国は「核兵器の安全性と信頼性を維持する」ためとして、ニューメキシコ州で Z マシンによる核実験を今年9月以降2回実施した、と10月30日発表した。核爆発を伴わないとはいえ、核分裂を連鎖的に引き起こす直前の状態で核兵器の性能を試す今回実験の目的は、まぎれもなく核兵器の維持・改良、新たな開発である。

貴職のブラハでの「核兵器のない世界の追求」「核兵器を使用した唯一の国としての道義的責任」との演説はいったいなんだったのか。圧倒的多数の国や国連事務総長が核兵器の「非人道性」を強く非難し、核兵器のない世界を求めている時に、「被爆地が反対しても取りやめる考えはない」など世界の世論に逆行する今回の実験に満身の怒りを込めて抗議する。

今必要なのはこうした新・旧の核実験を中止すること、包括的核実験禁止条約を早期に批准・発効すること、なによりも2010年の再検討会議で再確認したNPT条約第六条の「自国の核兵器の完全廃絶を実現するという核兵器国の明確な約束」を実行に移すため、「核兵器禁止条約の国際交渉を開始する」ことを誠実に実行することではないか。

全世界の心ある住民の願いをすみやかに実行していただきたい。